

和 暦	西 暦	主 要 事 項
大正 三	一九一四	画人、平松梅州（八幡）没す（八月八日）。
大正 七	一九一八	八幡村、米の廉売の実施（八月一六日）。
大正 八	一九一九	大字八幡と佐布里が御料地払い下げの申請書を提出（六月二一日）。
大正二一	一九二二	町制施行により八幡村を八幡町と改称（四月一日）。
昭和 一	一九三六	画人、立松翠濤（八幡）没す（七月二日）。
昭和 一三	一九三八	台風のため知多郡旭村地内の名鉄常滑線が一時不通になる。八幡町内及び新舞子海水浴場の施設破壊。
昭和 一五	一九四〇	画人、杉江有昌（八幡）没す（五月五日）。
昭和 一六	一九四一	八幡町第一国民学校が、国民学校教育推進のモデル校となる（七月）。
昭和 一七	一九四二	八幡町、岡田町、旭村に大政翼賛会支部結成。
昭和 二一	一九四六	八幡町、岡田町、旭村に日本婦人会支部結成（七月）。
昭和 二二	一九四七	八幡町で青年団結成（五月）。
		八幡町、岡田町、旭村で町村長選挙実施（四月五日）。
		八幡中学校、岡田中学校、旭中学校が新制中学校として発足（四月一八日）。
		消防団令公布により、八幡町、岡田町、旭村で民主組織の消防団結成。

和 暦	西 暦	主 要 事 項
昭和二三	一九四八	八幡町警察署設置（三月）。 八幡町農協設立（六月二〇日）。
昭和二四	一九四九	八幡町立の小学校は八幡・新知・佐布里・新田小学校とそれぞれ改称（二〇月）。
昭和二五	一九五〇	八幡中学校第二期校舎建築（十一月）。
昭和二七	一九五二	知多郡連合青年団弁論大会で八幡青年団が一位から三位まで独占。
昭和二八	一九五三	八幡町、岡田町、旭町に教育委員会発足（二一月一日）。
		八幡町長選挙施行（一〇月）。
		八幡歌会の第一回歌会開催。
昭和二九	一九五四	三町合併促進協議会発足（四月一二日）。
昭和三〇	一九五五	旭町、岡田町、八幡町が合併して知多町となる（四月一日）。
		知多町教育委員会発足（四月一日）。
		八幡幼稚園創設（四月一日）。
		八幡、新知、佐布里、亥新田、岡田、旭の六つの単位婦人会組織。
		合併により、八幡農協、岡田農協、旭農協と改称。

和 暦	西 暦	主 要 事 項
昭和三一	一九五六	八幡中学校増築工事完成（四月二一日）。
昭和三二	一九五七	知多万歳、県の無形民俗文化財として指定を受ける。
		有線放送電話設置（八月）。
昭和三四	一九五九	法海寺（八幡）の金剛界及び胎藏界曼陀羅・涅槃図が県の文化財として指定を受ける（二月一六日）。
		伊勢湾台風（堤防破損・浸冠水・死者二）（九月二六日）。
		法海寺の紅顔黎色阿弥陀如来図が県の文化財として指定される（二〇月八日）。
		画人、早川梅亭（八幡）没す（二〇月九日）。
昭和三九	一九六四	八幡保育園完成（四月一七日）。
		八幡、岡田、旭の三有線放送が合併し全町内通話可能となる（二〇月二七日）。
昭和四〇	一九六五	画人、堀田大鶴（八幡）没す（二月一四日）。
		八幡小学校改築工事完成（三月二六日）。
昭和四一	一九六六	八幡郵便受取所を尾張八幡郵便局と改称（三月七日）。
昭和四二	一九六七	八幡プール新設。
昭和四五	一九七〇	市制施行、知多市誕生（九月一日）。
昭和四六	一九七一	八幡・岡田・旭の三地区一本化の全自動交換ダイヤル式を設備し、有線放送電話協同施設協会誕生（三月）。

和 暦	西 暦	主 要 事 項
昭和四七	一九七二	八幡公民館完成（五月）。
		八幡小学校に、市としてはじめて特殊学級を設置。
昭和四八	一九七三	八幡中学校改築工事完成（八月）。
		画人、久野柳莊（八幡）没す（九月二七日）。
昭和四九	一九七四	八幡福祉会館完成（五月）。
昭和五〇	一九七五	寺本保育園・粕谷台保育園開園。
昭和五一	一九七六	法海寺の御深井焼花瓶が市指定文化財となる（二月二〇日）。
		八幡神社（八幡）の本殿が市指定文化財となる（二月二〇日）。
昭和五三	一九七八	法海寺の密教仏具・鰐口・御深井焼香炉が市指定文化財となる（二月一〇日）。
昭和五五	一九八〇	極楽寺の延命地藏菩薩立像・鰐口が市指定文化財となる（五月九日）。
昭和五八	一九八三	伝説・民話集「八幡の語り草」発刊（十一月三日）。
昭和六〇	一九八五	八幡コミュニティ推進協議会設立（一月二七日）。
平成三	一九九一	法海寺跡の発掘調査で弥生時代（推定）の人骨三体を発掘（十二月一日）。
平成四	一九九二	法海寺本堂再建、落慶法要挙行（二月八日）。
平成七	一九九五	市制施行二五周年記念式典にて、久野庄太郎（八幡）を名誉市民として顕彰。

和 暦	西 暦	主 要 事 項
平成 八	一九九六	尾張万歳が国の重要無形民俗文化財に指定（二月二〇日）。
平成 九	一九九七	名誉市民、久野庄太郎（八幡）没す（四月八日）。
平成一〇	一九九八	法海寺の諸尊集会図・釈迦十六善神像・不動明王八大童子図・山王本地仏曼陀羅が 市指定文化財となる（三月五日）。
平成一一	一九九九	尾張万歳後援会発足（五月三〇日）。
平成一二	二〇〇〇	法海寺の普賢菩薩坐像、吉祥院の阿弥陀三尊像、大乘院の阿弥陀三尊像、常光院の不動明王立像が 市指定文化財となる（三月九日）。
平成一八	二〇〇六	東海豪雨災害発生（九月一日）。
平成二〇	二〇〇八	法海寺の毘沙門天立像が市指定文化財となる（三月一日）。
平成二一	二〇〇九	消防署八幡出張所開設、同報無線運用開始（四月一日）。
平成二二	二〇一〇	法海寺の仁王門が市指定文化財となる（二月一五日）。
平成二三	二〇一一	名鉄常滑線寺本駅のエレベーター工事竣工式（三月二四日）。
		法海寺の仁王門・仁王尊像が平成の大修復を終え、落慶祝典挙行（三月八日）。
		市制施行四〇周年記念式典（九月一日）。